新医学系指針対応「情報公開文書」改訂フォーム　　単施設研究用

ロボット支援腎部分切除術における周術期成績および腎機能温存に関与する因子の後方視的検討

１．研究の対象

高知大学医学部附属病院において 2014 年 7 月 1 日～2026 年 8 月 31 日までに腎腫瘍に対してロボット支援腎部分切除術を施行された方

２．研究目的・方法

【研究目的】

ロボット支援腎部分切除術（RAPN）は、腎腫瘍に対して、腫瘍を切除しながら正常な腎臓をできるだけ温存することを目的として行われる手術です。本研究では、当院で腎腫瘍に対してロボット支援腎部分切除術を受けた患者さんの診療情報を用いて、手術後の腎機能の変化や手術成績、安全性、病理検査結果、再発や予後などを調査します。特に、手術後の腎機能がどの程度保たれるか、また、それに患者さんの背景、腫瘍の特徴や手術に関する要因がどのように関連するかを明らかにすることを目的としています。本研究により得られた知見は、今後、腎腫瘍に対してより安全で適切な治療を行うために役立つことが期待されます。

【研究方法】

本研究は、当院で腎腫瘍に対してロボット支援腎部分切除術を受けた患者さんを対象とする研究です。通常の診療ですでに得られている診療録（カルテ）、手術記録、麻酔記録、血液検査などの検査結果および病理診断結果を用いて、年齢などの患者さんの背景、腫瘍の大きさや位置などの特徴、手術時間、出血量、合併症、入院期間、手術前後の腎機能、病理検査結果、再発の有無、生存状況などの情報を収集します。

これらの情報を用いて、主に手術前と比較して手術後 1 年の腎機能がどの程度保たれているかを評価し、腎機能の温存に関連する患者さんの背景、腫瘍の特徴、手術に関する要因などを検討します。また、必要に応じて、腎機能が低下している患者さん、高齢の患者さん、腫瘍の大きさや位置などの特徴によってグループ分けを行い、それぞれの治療成績について検討します。

本研究では、通常の診療ですでに得られている情報のみを使用するため、研究のために新たな検査や治療を行うことはなく、患者さんに新たな負担が生じることはありません。

研究期間： 研究機関の長の実施許可日～2029 年 3 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日： 2026 年 11 月 10 日

３．研究に用いる情報の種類

情報： 年齢、性別、身長、体重、既往歴、腎機能などの検査結果、腎腫瘍の大きさ・位置などの画像所見、手術時間・出血量・温阻血時間などの手術に関する情報、術中・術後の合併症、術後在院日数、病理診断結果、術後の腎機能、再発の有無、生存状況、カルテ番号　等

本研究では新たな試料採取は行いません。

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒783-8505
高知県南国市岡豊町小蓮
高知大学医学部 泌尿器科学講座

TEL:088-880-2402

担当者:深田 聡

＊＊

研究責任者：

高知大学医学部 泌尿器科学講座
深田 聡

----------**以上**